

【 概 要 】

第5回 県道 大阪生駒線（阪奈道路） 辻町 ICフルランプ化事業説明会について （@生駒市図書館 R7.11.28_19:00～21:00）

〔出席者〕

辻町 IC 周辺の住民

〔説明内容〕（資料に沿って説明）

- ・フル IC 化の必要性等について
- ・前回の主な意見に対する回答について

前回の主な意見に対する回答について、事業の必要性、環境影響検討結果等を、改めて資料を用いて説明。

加えて、事業の整備効果は、「利便性向上」の観点で、事業地近傍に居住している方にとっても寄与すると説明。

環境影響検討結果は、騒音を低減する対策を実施した場合、現在と同等の状況まで、低減が図れる予測結果であり、大気質においても近隣測定局での結果と比較すると、予測値は同程度であることを説明。

また、用地幅杭設置に向けた境界立会や用地測量を進めており、調整がついた箇所から、順次幅杭を設置し、事業に協力頂ける地権者との用地交渉に着手することを説明。

〔出席者からの主なご意見等〕

- 辻町 IC の整備に伴い、今以上に環境、空気環境も悪化するのに、ここに住んでいる地元住民へのメリットがない。
- 人口・交通量が減少している中、この辻町 IC をフル IC 化せずとも、今のーフ IC のままでよいのではないか。
- 家のギリギリのところに道路が出来ることに対して、遮音壁を設置するようだが、税金を使ってもらわなくてよい。今のままで、現在の静かな住環境を壊すな。
- 既存の大阪行きランプは、道路勾配もきつく事故が起こりやすいと感じていることや、フル IC 化のオンランプとオフランプをまとめた方がよいと感じることから、計画自体を見直して欲しい。

【 概要 】

- 工事着工時期と事業完了時期について、目標を定めて示すべき。
- 工事の施工時間は、日中なのか夜間なのか。工事中の通行止め、夜間工事、及び騒音等の周辺道路や沿道店舗に与える影響を予測し、その対策を示すべき。
- 整備後の交通状況を予測し、事前に通学路にかかる安全対策を行うべき。
- 国道 168 号の道路拡幅に伴い、島田バス停前の歩道の安全対策が必要。

〔結果・対応等〕

- 事業を進めていく上での意見（①完了時期の目標、②工事中の沿道に与える影響予測・対策、③交通量予測に応じた通学路対策）について、
 - ① 用地協力を頂く予定の関係者の意向を考慮せずに、完了予定時期を明言することは難しい。
 - ② 工事中の道路規制等について、関係者と調整が必要であり、改めて工事説明会で説明。
 - ③ 通学路対策は、交通量予測に関係なく、危険要因があれば、適宜対策実施。を説明。
- 令和 8 年度に予定している警察官舎の取り壊し工事にかかる内容については、令和 8 年 4 月以降の説明会で対応。

-以上-